

# 高岡ロータリークラブ

会長／西村博邦 幹事／竹中伸行



2018/1/18  
ロータリー：  
変化をもたらす No. 26

## Rotary: Making A Difference

例会日：木曜日 12:30~13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 中川 会場監督 点鐘 西村 会長  
国歌斉唱／ロータリーソング  
ロータリーの目的 朗読／四つのテスト 唱和  
ゲスト

(有)モメンタムファクトリーOrii

代表取締役 折井 宏司 氏

富山第3分区ガバナー補佐 村谷 正芳 氏

万葉ロータリークラブ会長 竹本 稔 氏

### 会長挨拶／報告

■ガバナー補佐、高岡万葉 RC 会長から富山第3分区  
都市連合会のお知らせ

### ■誕生祝

山下清胤君〔1/18・64才〕

藤田益一君〔1/21・69才〕

### ■皆出席表彰

小間茂雄君〔31年〕

鞍野 誠君〔11年〕

竹中伸行君〔7年〕

### 幹事報告

■配布／ロータリーの友、ガバナー月信 各1月号

### 委員会報告

■雑誌…ロータリーの友1月号紹介

■SAA…テーブルマスター選任のお願い

< ニコニコBOX < 10件 30,000円 >

ガバナー補佐／あけましておめでとうございます。本年  
も昨年同様よろしく申し上げます。

高岡万葉 RC 竹本会長／都市連合会よろしくお願  
いします。

伏江副会長／新年初例会、多数の御参加ありがとう  
ございました。特に二次会に行かれた皆様、吹雪の中  
大変お疲れ様でした。(有)モメンタムファクトリー  
Orii 折井社長卓話よろしく申し上げます。村谷富山  
第3分区ガバナー補佐、竹本万葉 RC 会長ようこそ  
高岡 RC へ。

竹中幹事／折井さん、本日は卓話よろしくお願  
いします。皆出席祝ありがとうございました。

中村君／卓話者の折井さん、高岡開町 400 年で一緒  
汗を流した敬愛する同志です。今日は卓話楽しみに  
しています！

河村君／皆様と楽しく過ごした11日の夜から、見事  
に降りましたねえ。皆様はご無事でしたか？私は翌

12日の朝と夜…2回車が立ち往生でした。どちら  
も JAF に電話をしても全く繋がらず、朝は近所のお  
爺さんがスコップを持って助けに来てくれて、夜(深  
夜)は奇跡的にたまたま車で通りかかった若者2人  
に手伝って貰い、いずれも何とか窮地を脱しました。  
日本人のというか伏木の人情はまだまだ捨てたもん  
じゃないですね。というニコニコBOXを出そうと思っ  
ていたら、私の実家の前の通りの除雪が異常に進ま  
ず、私自身15日、16日で4台の車をスコップ片  
手に救出する羽目になりました。何故除雪が進まない  
！高岡市も大変なんだろうけど……

岡本(欣)君／明けましておめでとうございます。先  
週の初例会に出席できず失礼しました。今年も宜し  
く申し上げます。

大川君／新年初懇親会、悪天候にも関わらず有難うご  
ございました。

高野君／1/11 に新製品製造設備が完成し無事に竣工式  
ができました。関係者に感謝。今年もニコニコ BOX  
に多くの寄付をお願いします。

小間君／皆出席祝ありがとうございました。

## 本日のプログラム

### 「高岡銅器着色の可能性」

折井 宏司



高岡銅器は長らく分業制、問  
屋・原型・鑄造・仕上げ・研  
磨・着色・彫金などに分かれ  
ており問屋がイニシアティ  
ブをとり各工場へ仕事を依  
頼し、全国へ販売を担ってき  
ている。言わば我々加工側工  
場は、営業・販路開拓・新製  
品企画などを行う必要もなく、与えていただく依頼  
を待って仕事をしてきた。この体制は高度成長期～  
バブル期の間は非常に仕事がよく回り各専門の技術  
を発揮し、より良い製品をより沢山、製造すること  
ができていた。しかし伝統工芸品は衰退の一途をた

どっており高岡銅器は37分の1以下まで落ち込んでいるのが実態である。我々加工業者は仕事を貰うだけの状況では生活が出来なくなっており、自社オリジナル商品の開発や新しい技術を確認して新分野の方向へ販路・技術を求めていく必要になってきた。新しい商品開発には莫大なイニシャルコストもかかることから考えた結果、鋳造品ではなく我々加工業者でも入手が簡単な銅・真鍮の圧延板を使っての商品開発であった。しかし鋳物製品では肉厚が5mm程度有り、伝統的な着色技法である糠焼きなど高温に熱して表面の変化させる技法が可能であるが、厚み1mm以下の薄い圧延板では、同じ技法は使えなかった。そこで様々な実験を繰り返すことによって、薄い板でも色を出すことが可能となり、青・赤・緑・黒、様々な色が絡み合った表現ができた。これを「斑紋孔雀色」と名付け、さらに技法を組み合わせることによって色のバリエーションを増やし、テーブル天板・コースター・時計など、もともと興味があった家具やインテリア商材に目を向け商品開発を始めた。建築や店舗内装の設計士などから依頼により建築・建材を始めて行くこととなった。また全国から、美大生や工芸を専攻してきた人材の採用・またまったくの異業種からの転職者も積極的に受け入れ、現代的な伝統工芸の世界に興味を持ってもらう人材育成にも力を入れている。

**出席報告** 7/1 期初 74名 (内名誉会員 2名)

正会員/73名 出席免除者/2名 (本日出席 1名)

本日の出席率/83.3%

前々回出席率/100%



#### 今後のプログラム等予定

2/1 卓話 オタヤこども食堂代表 田辺 恵子氏

2/8 卓話 富山県腎友会 中 秀晃氏

2/15 会員卓話 浅野 弘昭会員

2/22 伏木高校卒業 IA 報告

